

いとうの杜新聞
 I T O
 L O Y A L
 W A M T O W N
 平成28年5月号

介護老人保健施設 いとうの杜／短期入所生活介護 いとうの杜
 居宅介護支援事業所 いとうの杜／訪問介護ステーション いとうの杜
 通所リハビリテーション いとうの杜
 2016年5月15日発行 第62号
 発行:「いとうの杜新聞」編集部 TEL 0557(35)4165 FAX 0557(35)4101



五月の空を鯉のぼりが元気よく泳いでいます。今年、新たに仲間が増えました。ご近所の方や、職員の親戚の方から、しまいっ放しになって眠っていた鯉のぼりをいただきました。見てください、みんな♪面白そうに泳いでる〜♪



各フロアも五月人形や鯉のぼりが飾られています。



新緑の5月です！「こどもの日」 = 「端午の節句」の由来ご存知ですか？

ずっと昔中国の風習が入ってきました。中国では悪い事がその家に起こらないように、ヨモギで作った人形を飾ったり、菖蒲の葉っぱを門にかけました。鎌倉時代から[菖蒲]と[尚武]が同音と菖蒲が鋭い剣の形から男の子の行事となり、鎧兜は武士の身を守る物なので、男児の身を守り武士のようにたくましく育てほしいと願いを込めて五月人形を飾るようになりました。こいのぼりも中国から伝わりましたが、日本でも『鯉の滝登り』から立身出世を意味して夢は大きく、高く！です。



大昔、中国の屈原というみんなに愛される偉い人が、ある時地位を失ってしまい、5月5日に川に身を投げてしまい国民は魚が亡き骸を食べてしまわないようにエサの代わりにちまきを川に投げ入れたという話があり、その後も5月5日にちまきを作り厄除けをしているそうです。ちなみに[柏餅]は日本独特のもの。柏の木は新葉がでるまで古葉が落ちない事から「家系が絶えない縁起物」とされています。関東では[柏餅]関西では[ちまき]を食べる習慣が根付いたと言われていました。昭和になって国が5月5日を『こどもの日』と決め、男の子の子関係なく[こども]となり【こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する】という日だそうです。

季節の変わり目のこの時期、体調を崩しがち。寒暖差による自律神経の乱れも原因になる場合が多いそうです。睡眠をしっかり取る事、バランスのとれた食事をしっかり食べる事、適度の運動をする事が体調管理に効果的！！水分補給もお忘れなく！！好きな事をしてリラックスするのもいいですね。

皆様、お身体に気を付けて、いとうの杜をご利用ください。お待ちしております。

居宅介護支援事業所 小川浅美・太田三喜代

伊豆散歩 韮山反射炉と江川坦庵 ②

韮山反射炉を造った江川太郎左衛門英龍(坦庵)、どういった人物だったのでしょうか。前月に引き続きレポートいたします。江川家は徳川幕府が成立し、伊豆が幕府の直轄地になるに及んで、代々代官として明治維新に至るまで江戸時代のほぼ全期間を統治してきました。江川坦庵が江川家第36代当主として代官を務めていた幕末の時代は、欧米の列強がアジアの各地を次々と植民地化した時代であり、日本の置かれた立場を深く憂慮し、幕府に対する沿岸警備の建議、西洋の砲術の研究と訓練、韮山反射炉築造に関する提案と実行を行いました。また、パン(兵糧として)を初めて製造、西洋式造船の監督、江川塾における教育など数多くの実績があります。それにもまして、文化人としても有名で、多くの書画、詩作、工芸品などを残しています。



江川坦庵の自画像



表門



土間

さて、江川邸をおじゃましてみましょう。車で行くには、国道136号を韮山で折れ、伊豆箱根鉄道の踏切を渡り、田んぼの中を5~6分走った田舎にあります。江川家住宅は約400年前に建築され、民家としてわが国初の重要文化財に指定されました。一般個人での入場は500円です。表門から入り、順路に沿って右に回り込むと大きな土間が現れます。建設当時土間の屋根は、茅葺でしたが、改築を重ね、現在は銅板茅となっています。中から見上げると、天井が張っていないため、屋根裏の複雑な木組みが見られます。忍者侵入防止策もとられているそうです。ここでも無料の観光ボランティアの方が大勢いて、各ポイントで熱弁を奮っています。この土間の見どころのひとつとして、「生き柱」があります。江川氏がこの地に移り住んできた時、生えていたけやきの木をそのまま柱として利用したとされる柱。現在の主屋よりさらに古い、前身となる建物の柱だったと考えられるそうです。力学的には必須の柱ではないが、江川氏の歴史と伝統を物語る存在として



屋根裏

長年にわたって大切にされています。しばし、この説明に引きずり込まれ家の中に入ると、まずは坦庵の文化人としての一面が見られる展示物が多く飾られています。特に目を引いたのは書画、今でいうイラストタッチの絵は独特の画風があり、人物、動物、物が滑稽に描かれ、庶民の生活をうまく表現していました。座敷の中を進むと、当時使用していた生活用品や開塾していた頃の塾生名簿など見る事ができました。NHKの大河ドラマ「篤姫」が將軍家に嫁ぐ場面や、ドラマJIN「仁」の撮影にもここが使われたそうです。写真が飾ってありました。この棟とは別に米蔵や肥料蔵、武器庫などもあり、当時の大砲や鉄砲が展示してありました。

江川坦庵は、時代劇でよく見る悪代官とは違い、治安維持と民政に意を注ぎ、百姓一揆は一度も起きていないそうです。政治家たる者、皆こうであったなら日本の将来も変わっていたかもしれません。先にも述べましたが、1842年(天保13年)兵が携行する乾パンを当時この塾生が製造していたそうです。土間にパンを焼くためのかまどや鍋が残されており、その様子が伺いれます。昭和28年に全国パン協議会は、パンを全国に広めた坦庵を「パン租」として顕彰して、庭に記念碑「パン租の碑」が建てられました。



武器庫



鉄砲

2回にわたり韮山の反射炉と江川邸を紹介させていただきましたが、少しでも興味を持たれた方は、伊豆半島の世界遺産初となる韮山反射炉を一度見学されてはいかがでしょうか。そしてこれを造った人が住んでいた江川邸にも足を延ばし、ちょっとした昔を偲んでみるのもいいものです。

伊豆の散歩人

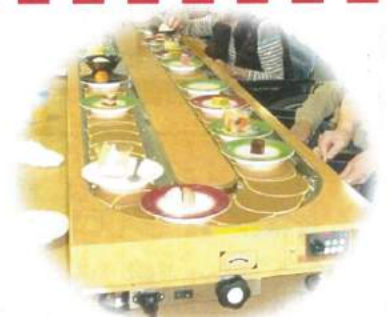
おやつバイキング

4月29日(金)4階では、4月のお誕生日会と回転すしレーンを使用しておやつバイキングを行いました。

どの利用者様も笑顔が見られ、普段食事摂取量が少ない方も積極的に召し上がっていただきました。多い方は「7皿も食べたよ!」と満面の笑み!!

楽しい時間を過ごすことができた事をスタッフもうれしく思います。このような変わったことを時々取り入れて、生活に刺激を入れていきたいと思いました。

介護職員 八木澤 早苗



四月になり

先日2階の皆さまと職員とでお花見に行ってきました。その中のお一人の方からの投稿です。
ありがとうございます。

どこも桜、さくら、サクラの満開です。
「さあ、今からお散歩です」
介護士さんと、同じテーマの方と
一緒に外へ。
室内だとスムーズに走れるのに
一步外へ出たら1cmも動かない。
リレー式にうまく車椅子を
走らせてくれて
伊東公園へ。
大きい桜の木が私達を
歓迎するかのように
心地良く。



芝さくらのピンクが毛布を
しきつめたように
キレイでした。
どんなに頑張ったって
1人じゃダメ……
介護さんが居てくれたから
どんなゴチソウよりも、
桜の木の下の空気をいっぱい
すって帰ってきました。
職員の皆さん、いつも
アリガトウ。。。



ペンネーム 車 イス子

お花見予定→大ビンゴ大会

4月14日(木) 通所では、ご利用の皆さま全員を対象に伊東公園まで
芝桜を見に行き、皆で記念撮影をするお花見レクリエーションを予定して
いました。皆様に声かけしご参加いただけたのは38名。ところが、当日
は雨がパラつき、足元が悪く、残念ですがお花見に行くことができません
でした。お花見の代わりに大ビンゴ大会を行いました。ささやかな景品で
すが、皆さん喜んでくださり、最後は全員で記念
撮影！笑顔でパシャリ！！お花見に行けなかった
のは残念でしたが、大人数でワイワイ賑やかな1
日でした。

介護職員 佐藤 裕美



B・B・Q

4月26日(火)・27日(水)の2日間に通所では、いとうの杜正面玄関前
にてバーベキューを行いました。

お天気も良く、外にテーブルを出し、利用者様に召し上がっていただきました。
いつもの食事と雰囲気の違い、お肉や焼きそばの香りに誘われて順番
を待つ行列が出来ていました。事務課、リハビリ室のスタッフにご協力頂き
利用者様は大満足されているようでした。



肉焼きます！イケメン五人衆



通所リハビリテーションでは、ご利用の皆様へのサービス向上をめざし、毎日、日替わりでイベントを開催して
おります。今回のB・B・Qもそのサービスの一環として行いました。食事(おやつ含む)サービス、ボランティアの方々
による様々なパフォーマンスをご覧いただき、日々の生活の一部として楽しんでいただけたらとスタッフ一同願って
おります。

通所職員

動物園のエサについて大きく変化が起きており、当然のように思われていた「サルのエサといえばバナナ」ではなくなっているところがある。

日本獣医生命科学大学(栄養生化学)の太田能之教授は、動物園での適切なエサについて、野生で食べているものが基本であるが、同じものを常に手に入れることは難しく、そもそも環境(生息環境)が違う飼育下で野生と全く同じエサが良いとは限らないという。また、適切なエサの量や内容は分かっていない部分が多く、野生のエサに動物が求めるもの(動物の種類にもよる)と、飼育下でちょうど良い栄養量を調べて、エサを調整するのが重要とのことである。

上野動物園の飼育員の青木考平氏は、飼育下で一年中栄養価が高くなると体形がひと回り大きくなり、出産の回数も増え体に負担になるという。

適切なエサへの改善は、動物たちのより良い生活のために、環境や季節に応じて考えることが重要であり、それが動物飼育員の重要な役割でもある。

The Nutrition & Diet News より

新人さん紹介

松本 優

(28.2.22入職)

看護職員

独身 実家は愛媛
年齢 29歳
前職はシドニーで
ワーキングホリデー



趣味

英語の勉強
三浦大知のライブ♡

抱負

いとうの杜の良い所を全て吸収して看護師として成長したいです。ご迷惑おかけするかと思いますがよろしくお願いします。

村上 綾奈

(28.3.8入職)

看護職員

山形県生まれ
実家は4人家族



趣味

登山



抱負

初めての老健勤務となります。どうぞよろしくお願いいたします。

星子 まゆみ

(28.1.25入職)

介護職員

既婚
夫と小6の男の子
との3人家族



趣味

息子のサッカー応援



抱負

利用者様が少しでも気持ち良く過ごして頂けるように努力していきます。

今月の行事

デイ ・5月第一週(月～金) ご当地スイーツ週間 ・和太鼓部演奏会(飛龍高校) 5/7(土)

・吹奏楽部演奏(市立北中学校) 5/14(土) ・富士宮焼きそばを作ろう! 5/31(火)

2階 しょうぶ湯で湯ラックス 5/3(火)～5(木)

3階 外出レクリエーション

アイスを食べに喫茶店へ 5/19(木)

4階 お誕生日会 5/18(水)

5階 母の日のカーネーションプレゼント 5/23(月)

6階 しょうぶ湯で湯ラックス 5/14(土)

昼食バイキング

5/16(月)3階 5/17(火)デイ 5/18(水)4階

5/19(木)5階 5/24(火)2階 5/25(水)6階

5/26(木)デイ * 詳細はポスターをご覧ください

移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。

5月 23日(月)



ご希望の方は各フロアスタッフまで!!

いとうの杜新聞では、皆様のご意見や投稿など募集しております。

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思っております。皆様 아이디어お待ちしております!

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9
「いとうの杜新聞」編集部 まで

電話 0557-35-4165
FAX 0557-35-4101

